



発行日平成 28 年 5 月吉日
上尾の活性化を考える会

上尾市議会議員 池野 耕司
所属会派 上尾政策フォーラム
上尾市浅間台 4-17-15

TEL: 048-775-8259 FAX:048-773-6357

こうじレポート No101

熊本、大分において震度7を記録した地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、多数の家屋も倒壊し、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

断層の多い日本では、地震はどこでも起こり得る可能性があります。行政においても安心安全な街づくりを更に推進させ、防災に対する意識、知識の啓蒙や職員の育成・確保も今後の重要な課題です。上尾市では、「自分達の街は自分達で守る」というスローガンのもと平成4年から自主防災組織制度を導入し現在、市内114全事務区に116団体(H28・4)設置されています。東日本大震災では、被災地における高齢者や障害者の死亡率が高く、避難支援にあたる消防団員や、民生委員等の犠牲も多数に及んだ。これにより、本市でも平時から災害が発生し、又は、災害が発生する恐れがある場合に、避難することが困難な者、いわゆる避難行動要支援者の把握と平時における避難行動要支援者対策の整備が課題です。今回は災害に関する情報をお伝えします。

1、28年度予算の防災対策費について(約32,000千円)

防災備蓄、自主防災組織育成支援事業、被災地復興支援事業(岩手県陸前高田市、福島県本宮市への支援)

事業名	平成28年度 予算額	平成27年度 予算額	所管課	防災行政無線のデジタル化による伝達機能の強化(28年:調査・設計、29年度:工事)に関する経費。
防災備蓄事業	9,479	7,556	危機管理防災課	予算額の単位:千円
自主防災組織育成支援事業	5,600	7,217		
被災地復興支援事業	5,232	5,224		
防災行政無線デジタル化事業	11,470	-		

2、備蓄物品について(平成28.3.31現在)

食糧・飲料水……74,506食(アルファ米、炊き出し用ご飯、ビスケット、クラッカー)、20,976本(1.5ℓ)
寝具・下着……毛布8,737枚、寝袋456袋、下着セット(男女)2,400セット、敷布団28枚、簡易ベッド5個
医療・衛生……大人用紙オムツ4,104枚、子供用紙オムツ6,472枚、担架163台、医療用簡易ベッド67台等
トイレ……組立式トイレ(災害弱者等)69台、ポータブルトイレ41,300枚、マンホールトイレ240台
資機材……発電機107台、折りたたみリヤカー109台、投光器56台、ガソリン携行缶49個、給油ポンプ40本、懐中電灯84個、自転車83台、空気入れ41台、移動式炊飯器4台、移動式調理器セット41台等

現在は、各小中学校の防災倉庫への備蓄量も少し増え食糧1,340食、飲料水432本(1.5ℓペットボトル)等々が均等に備蓄されています。児童生徒数に準じた備蓄量にするべく、今後の課題と思いついてまいります。

3、民間の木造戸建住宅の耐震診断・改修への補助

既存建築物耐震化促進事業として7,600千円計上。地震等により被害の低減を目指す。

年度	耐震診断		耐震改修	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
24	10	250,000	9	2,661,000
25	5	142,000	13	4,972,000
26	6	165,000	5	1,951,000
27	1	27,000	1	251,000

参考:過去の利用状況を一覧表にしました。

①耐震診断補助制度とは、耐震診断に要した費用の2分の1の額かつ上限3万円までとした市からの補助制度です。

②耐震改修補助とは、耐震改修に要した費用(住宅の床面積1㎡につき32,600円を限度)の23%かつ40万円までが上限となっています。

所管課……都市整備部・建築安全課(775-8490)

※6月議会は6月10日(金)開会です。